



遠く離れても ふるさとを思う心は……

ふるさとで1ヵ月遅れのお盆をむかえようとして都心を離れた人は264万人とか……。

鷹巣駅も多くの帰省客でごった返し、都会の華やいだ雰囲気、お盆期間中、にぎわいをみせていました。

遠く離れても、ふるさとを思う心をいつまでも、大切にしてほしいものです。

人口と世帯数 (住民基本台帳による)

7月31日現在	(前月比)
総人口 25,501人	(24人増)
男 12,444人	(8人増)
女 13,057人	(16人増)
世帯数 7,189世帯	(8世帯増)

◆編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係

◆印刷所 KK 秋北新聞社

※責任と自覚を求めて※

三人が大人の仲間入り

パーティーで成人式を祝う



朝から晴天に恵まれた八月十五日、午前九時半から鷹巣町中央公民館で成人式を開催。この日、たちを迎える新成人は三百八十三人で、うち男百四十三人、女百六十二人、計三百五十五人が出席し、多くの来賓からはたちの門出の祝福を受けていました。

当日は、ふるさとを離れている人も、お盆の帰省で多く参加。服装もスラックス、ワンピースといった軽装でおよそ、今年で十二

回目を迎えた夏の成人式もすつかり定着しました。

式典では、出川町長から「立派に成長され成人を迎えたことは、地域社会にとってもたのしい限りです。これからは、社会的にも法的にも責任を持たねばなりません」とあいさつがありました。

村上議長からは「社会人としての自覚と、責任を持ってほしい。」成田純次県議は「不満や批判に終始しないで、若さを発揮してほしい」と、それぞれ祝辞が述べられました。



参加者全員に、「キーホルダー付アドレス帳」が代表者をおし手わたされ、最後に新成人を代表して藤田睦子さん（前山）が、「学校、社会という温室でぬくぬく育ち、ともすれば周囲の人達に甘えがちであった私達であります。これからは社会人として、成

はたちの声 はたちの声

真の大人へ

三吉町 河田 光子



早いもので、私も社会人三年生となりました。つい

この間高校を卒業したばかりと思っていたのに、アッという間に成人式を迎えたようです。

私の場合、大人とは絶対いえないし、社会人といってもまだまだ自覚がたりなくて仕事面、生活面において甘えてばかりいますので、成人を迎えた今、何事にも責任をもつて行動し、社会人という名にはずかしくないよう努力し、大人の仲間入りしたいと思っています。

自覚

今泉 藤内 哲哉



今、二十歳となつて自分自身何も感じないが、周りの大人たちから見るとそうは言っていない。

よく大人たちは、「自覚を持つて行動せよ」という。しかし、自覚を持つという前に、我々成人者たちにはもつとしなければならぬことがあると思う。

今、言ってみろ...といわれても自分ではすぐに言い返せない。いわゆる成人となった時点から、また新しい教科書を開き、その中から見つけてこそ初めて「自覚」を持つ事ができるような気がする。

目標に向って前進

七日市 伊藤 明 美



去年まで学生だった私は「二十歳」と言われても、実

感というものはまったくと言っていいほどありませんでした。常に誰かを頼りにして、甘えることばかりでした。しかし、「成人式」というこの日を境にし、社会の一員としての自覚と責任を持って、生きて行きたいと思っています。

長い道のりには、苦しいこと、つらいこと、数多く出合うことでしょう。しかし一人の人間として自分の目標にむかって前進して行きたいと思っています。

人間関係を円滑に

四渡 佐藤 浩



成人になつて思うことは、何事に対しても責任が付き



人した人間として、自覚と責任を持って行動したい」と抱負が述べられ、式典を閉じました。

このあと、成人記念作文の発表があり、村上昌子さん（掛泥）、堀部康子さん（新旭町）、山内久美子さん（綴子上町）の三人が、これまでの生活体験をおし、さらに成人としての自覚にめざめてがんばりたいと決意が述べられ、深い感銘を与えていました。

県青年会館・田口清克氏の記念講演では、「イギリスのラクビー校でフットボールをしているとき、一人の少年がボールを持ったら走ってしまった。当然ルールに違反しているが、結果的にはおもしろいと言うので、ラクビーが生まれた。伝統を重んじるイギリスで、

一少年のルール違反で新しい競技が生まれたのである」と話され、新成人に活力ある人生を送るよう語りかけていました。

午後からは、新成人実行委員会（篠内哲哉委員長）の自主運営でパーティーが開かれ、高橋教育長の音頭で乾杯。三百人余りの新成人はテーブルをかねて、オードブルやビール、サイダーのどをうるおしながら、なつかしい中学生時代の思い出に花を咲かせるなど、交歓風景が目につきました。

実行委員会は、「太陽がくれた季節」の歌唱指導をしたり、「カラオケ」でふん囲気を盛り上げるなど、はたちの思い出づくりの演出に、大役を果たしていました。



ヒヨツ子の自分が

太田 照内 照雄



二十歳 になったからといって、突然考え方や行動が変わるわけはありません。しかし二十歳という一つの大きな関門を通過するにあたって、今自分の置かれている立場を考えてみる。ことが、大切なのではないだろうか。世間の人から見れば、まだまだヒヨツ子の自分たちが、これからどうしたらいいのか、じっくりと考えなければいけないと思います。今までの自分より一歩でも、二歩でも、前進できれば幸いです。

冷静にみつめて

坊沢上町 津谷 厚子

成人式を迎えて特別な心情の変化

はたちの声 はたちの声



責任ある社会人

綴子上町 武内 光幸



化はなくても、これからは一人前の社会人として社会から認められ、また選挙権が与えられ、社会的義務や自分自身の人生に責任を持たなければいけません。今まで以上に自分の世界も広がって、ときにはまごつく事もあるかもしれませんが、社会人としての自分の生き方、考え方に自信をもって、いろいろな情報にまどわされずに冷静にまた主体的に考えられる人間になりたいと思います。

社会に出る三年目に突入し、大人の仲間入りをするためにも、世の中のこともっと知っておかなければと仕事、組織活動などがむしやにやってきましたが、ようやく自分の人生にもゆとりがでてきました。

その反面、人とのつながり、社会の厳しさやつらさを膚で感じさせられ、自分自身にふりかかる責任の重さが頭の中にかんじます。これからの人生は今までの安易な気持ち捨て、責任ある社会人として、慎重に歩んでいきたい。

知事との行政懇談会

中岱橋の早期建設を要望

五十七年度から調査



佐々木知事は八月二十日当町を訪問。吉野子どもの村や沢口公民館で行われた「部落自治研修会」を視察したあと、役場で「行政懇談会」が開かれましたが、関係者と熱心な話し合いをし、実り多い知事訪問となりました。

佐々木知事は午前九時十分に吉野子どもの村に到着。出川町長の案内で県内の障害児によるサマーキャンプを視察、村上清園長から施設の概要について説明をうけたあとボーイスカウトを激励しました。

続いて沢口公民館では、住みよい集落づくりをめざす「部落自治研修会」を視察し、実践発表に熱心に耳を傾けていました。

視察のあと役場三階大会議室で「行政懇談会」に入り、県から佐々木知事、鈴木地方課長、北秋田出先機関の長が、町からは出川町

長以下各課長、正副議長、各常任委員長、各団体の代表が出席して開かれました。

佐々木知事は「六〇目標の県の経済成長率が実質三％にとどまったので四総にかえて、今年度から総合発展計画をスタートさせた。

前半五カ年で一兆四千六百億円の公共事業投資を見込んでいます。五十五年度の一〇・九％の伸び率だ。東北自動車縦貫道、石炭火力発電、石油備蓄基地、テクノポリスの建設に伴う関係事業の予算が確保できる。また発展計画は行政主導から官民一体となって取り組み、地

域の均衡ある発展にしたい」とあいさつしました。

このあと出川町長が歓迎のあいさつ、続いて午後零時半まで懇談会が行われました。

要望・意見と答弁は次のとおりです。

〔町からの要望〕

▽五十七年三月で期限切れとなる農協合併助成法を継続するよう国に働きかけてほしい。

北秋田農林事務所長「優遇措置が多いので国に要望したい。

▽小中学校の木造危険校舎耐久度の緩和措置を五十七年度以降も継続されるよう国に働きかけてほしい。

北教育事務所長「全国的な問題なので文部省が大蔵省に強く要望している。

▽県行造林地の保育管理が強化されているが①放牧利用に適地な林地の開放②道路の整備③契約期間(四十五～五十年)にとらわれず優良大径木の生産に努められたい。

北秋田農林事務所長「①吉ヶ沢百畝は、植栽後二十年を経ているので申請があれば検討したい②五十

七年度から林道の整備を実施する③優良大径木は六、八十年を要するので要望があれば検討したい。

▽県道鷹巣・川井・堂川線を路線変更のうえ、中岱橋の建設工を早期に採択してほしい。

北秋田土木事務所長「一〇五号線バイパスの進行と都市計画の見直しを実施している段階であり、都市計画の決定をみたうえで検討する。五十七年度から中岱橋の調査に入りたい。

〔一般出席者からの要望〕

▽肉用牛の導入融資額をアップしてほしい。

知事「融資の増額は価格の値上がりによって連動するのでおさえているが検討してみたい。

▽地域活動センターを鷹巣町に建ててほしい。

知事「センター建設は広域圏に建設するもので町村間の話し合いがまとまったところから着手したい。

建設は県だが、維持・管理・運営は地元青年会、婦人会、老人クラブなどにまかせたい。

▽阿仁合線を存続してほしい。

知事「鷹角線の開通を前提に知事意見書を提出したが存続は現在の情勢で難かしい。第三セクターで存続させた場合の見通しを調査中だ。その場合、予想される赤字の負担やあり方について今後みなさんの意見をききたい。

▽新空港を利用するために、大野台にヘリポートを作ったらどうか。知事「国道七号線の整備による短絡化と、和田駅に急行を止め、空港までリムジンバスを利用した方が時間・料金面で現実的だと思う。

町 長 日 誌

8月1日～8月15日

1日 森吉町コミュニティセンター竣工落成式「森吉町消防総合訓練大会」

2日 五城目町との交歓スポーツ大会

高松宮賜杯第二十五回全日本軟式野球大会奥羽予選開会式

4日 家庭婦人バレーボール全国大会優勝祝賀会

健康増進トレーニングセンター竣工披露「上小阿仁村」

6日 七日市財産区協議会

7日 秋田市町村公立学校施設整備期成会役員会「秋田市」

9日 子ども会相撲大会

旭町共同墓地移転入魂式

10日 北秋田地方林業従事者管理休養センター竣工式、祝賀会「比内町」

12日 森吉町外四カ町村病院組合管理者、副管理者会

14日 町おはよう野球大会閉式

15日 町おはよう野球北秋予選開成式

成人式

▽林業保育の補助を森林組合に限らず個人にも該当させてほしい。知事「公共性のあるもの、自力で林業保育できないものに補助するもので、自分でやれる大規模林家は融資制度を利用してほしい。



ふるさとのお盆

お盆は祖先の霊を慰め供養するため、遠く離れた親類が集い、先人の思い出を語って秋の収穫前の骨休めとしたものです。今年もまた、どの家にもぎやかな話し声と、子どものはしゃぐ姿が多く見られました。

お盆行事では、14日から16日まで恒例の銀座通り盆踊り大会が、各地区、町内でも納涼盆踊りが盛んに行われていました。

16日の歩行者天国では、炎天下にもめげず、車道に座りこんでチョークで落書きしたり、タケウマ、スイカ割り、金魚すくいに興じ、夏の楽しい一日を過ごしていました。

町職員資格試験

町職員採用資格試験を行います。受験希望者は、秋田県町村職員（上級・初級）採用統一試験要領により、受験申し込みください。

〔上級職員〕

- 1、採用予定人員 一般行政事務職員 若干名
- 2、受験資格
 - (1)学校教育法による大学を昭和54年3月以降に卒業した者又は昭和57年3月31日までに卒業見込みの者
 - (2)学校教育法による短期大学及び高等専門学校を昭和54年3月以前に卒業した者で、昭和27年4月2日以降に生まれた者
 - (3)昭和27年4月2日から昭和35年4月1日までに生まれた者
- 3、試験日（一次） 10月4日(日) 二次試験は一次試験合格者について通知します。
- 4、試験場 秋田県自治会館（県庁うら）
- 5、申込受付 9月7日(月)から9月19日(土)まで「勤務時間内」に役場総務課庶務係(二階)に申し込みください。

※ 住所要件（上級・初級とも）

- (1)鷹巣町に住所（住民登録）を有している者
- (2)町外に就職または就学のため、鷹巣町から転出した者で、世帯主（両親等）が鷹巣町に住所（住民登録）を有している者

※ 受験申込用紙及びくわしくは役場総務課庶務係に問い合わせください。（電話2—1111）

〔初級職員〕

- 1、採用予定人員 一般行政事務職員 若干名
- 2、受験資格 昭和31年4月2日から昭和39年4月1日までに生まれた者
ただし、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した者又は昭和57年3月31日までに卒業見込みの者は受験できません。
- 3、試験日（一次） 11月8日(日) 二次試験は一次試験合格者について通知します。
- 4、試験場 秋田経済大学
(秋田市茨島)
- 5、申込受付 10月1日(休)から10月17日(土)までの「勤務時間内」に役場総務課庶務係（二階）に申し込みください。

子ども会相撲で糠沢制す

個人は小塚くん(三年)二連勝

町内子ども会相撲大会が、八月九日・鷹巣体育館で開かれ、団体戦で糠沢子ども会、個人戦二年の部で佐々木巨くん(沢藤子ども会)三年の部で小塚貴紀くん(堂ヶ岱子ども会)が優勝しました。

大会は、今年で十四回を迎え、年々参加者も増え、団体戦七十チーム、個人戦は二年の部が七十一人、三年の部が七十六人参加。体育部にマツト式の土俵を二つ特設して競技が行われました。

豆力士の健闘もさることながら、付添いの父兄の熱の入れようもたいしたもの、「足をとれー」「残せ、残せー」と声をからして声援していました。

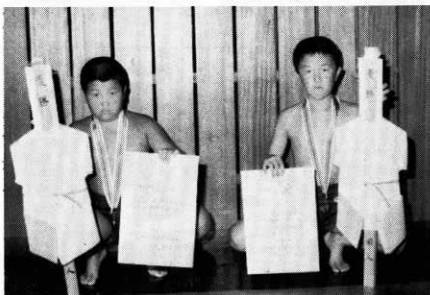
団体戦では五連勝をねらう舟場Aを二―で降して優勝。個人戦三年の部では、小塚くんが昨年に続いて二連勝を飾りました。主な成績は次のとおりです。

▽団体準々決勝
旭町B 2―1 鷹舟B
糠沢一A 3―0 舟場B
舟場A 3―0 糠沢一B
前山B 2―1 元氣

▽準決勝
糠沢一A 2―1 旭町B
舟場A 2―1 前山B
▽三位決定戦
前山B 2―1 旭町B



糠沢チーム



小塚くん(右)と佐々木くん(左)

▽決勝
糠沢一A 2―1 舟場A
▽個人二年の部
①佐々木巨(沢藤) ②吉田雄志(舟場) ③成田善克(どじ)

おはよう野球大会

バッファローズ優勝

おはよう野球大会は二百五十試合を消化し、バッファローズの優勝で八月十四日幕を閉じました。



▽三年の部
①小塚貴紀(堂ヶ岱) ②三沢直人(鷹舟) ③小塚智広(堂ヶ岱)

スポ少野球は東少年団

第五回町内スポーツ少年団野球大会は、八月七、八日の二日間、鷹巣農林高校野球場で行われ、接戦のすえ東スポーツ少年団が優勝しました。

大会には、町内六スポーツ少年団が参加。五年生を主体にチーム編成したので、多少の荒削りさが目につきましたが、団員は元氣はつらつとプレーをしていました。

試合は、再三にわたるチャンスを得点に結びつけ逆転また逆転で、応援にかけつけた同級生や父兄から、歓声が沸きあがっていました。

決勝では、追撃する中央少年団をくだして、東少年団が四年ぶり二度目の優勝を飾りました。

成績は

▽一回戦
東少年団 7―6 南少年団
中央少年団 3―2 子鷹少年団

ごと優勝を飾り、出川町長から深紅の優勝旗が手わたされました。決勝結果と表彰された選手は次のとおりです。

バッファ 3 2 0 0 0 0 0 1
ジャイ 0 0 0 0 0 0 3 0
▽最優秀選手 中嶋敬一(バ)
▽最殊勲選手 村上敏広(バ)
▽敢闘賞 桜庭元広(ジ) ▽優秀選手 佐藤良和(舟場ク)、堀江敏広(北秋のうりん)、貝田裕(ホーエンズ)、藤島孝男(日通) 千葉功(岩脇メッツ) ▽マナー賞 ローリング太陽

▽準決勝
東少年団 14―7 西少年団
中央少年団 8―1 綴子少年団
▽決勝
中央少 1 0 5 0 0 0 3
東少 0 3 1 0 1 5 ×
10 9



第四回東北中学校柔道大会は、八月四日仙台市宮城武道館で行われ、県代表として出場した鷹巣中学校が準優勝に輝きました。

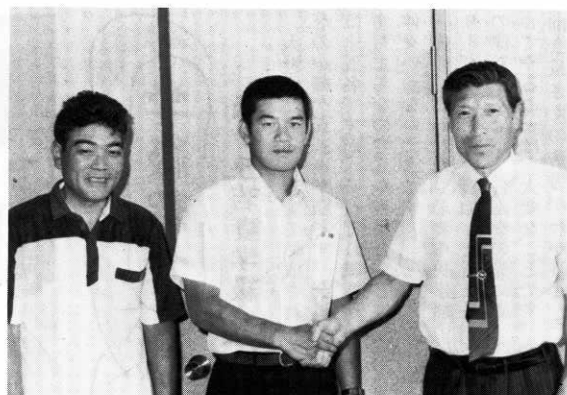
大会には、各県の子選を勝ちぬいた精鋭二十四校が出場。力と技の対決となりました。

決勝トーナメント一回戦は、江名中（福島）を2-0で、準決勝は酒田中（山形）を2-0で連破しました。

決勝は強豪小佐野中（岩手）と対戦。先峰三沢くんは引き分け、次峰畠山司くんは背負投げて破れ、中堅佐藤太くんは小外刈を放つて優勢勝ち、副将畠山清暢くん、大将小坂重人くんはともに引き分け、結果は1-1ながら、惜しくも内容の差で惜敗しました。

東北中学柔道大会で

鷹巣中が準優勝



甲子園で大活躍

三沢くん(付高)ごくろうさん

秋田経済大学附属高校の捕手として、甲子園に出場した鷹巣中学校出身の三沢定義くん（三年・大堤）が、多くの町民の声援に感謝して八月十九日役場を訪れ、出川町長にお礼と報告をしました。

三沢くんは、春に続いて夏の甲子園の土を踏んだもので、大会屈指の松本投手の女房役として好リードするとともに、盗塁を一本も許さないという大活躍をしました。

経大附高は、健闘むなしく三回戦で破れましたが、関係者からは大会随一の名捕手と評価されていました。

三沢くんは、「町民の皆さんから声援、激励をいただきお礼申しあげます。来年は大学へ進学し、野球技術にみがきかけたい」と語っていました。

今後の活躍に期待いたします。

お知らせ

省エネルギー標語 ポスター作品募集

省資源・省エネルギー秋田県推進会議では、全県の児童・生徒のみなさんに、石油や電気などのエネルギーを大切にすることを意識を育てるため、次の要領で標語とポスターを募集しております。

▽応募資格 小学校高学年の児童（四・六年生）、中学校の生徒

▽締切日 九月十二日

▽提出先 秋田市山王四丁目一

一 秋田県生活環境部県民生活課内、省資源・省エネルギー秋田県推進会議（電話 秋田六〇一一二二）

▽色と大きさ 〓ポスターの色は自由、大きさはB三判（画洋紙四ツ切大） 標語は原稿用紙にまとめる。作品には必ず学校、学年、氏名（ふりがな）、性別を書き入れてください。

▽その他 〓入賞発表十月上旬、賞は小・中学校とも標語、ポスター各五名に知事、教育長ほかから賞状と副賞が贈られます。

停電のお知らせ

九月の作業停電は、次の地区です。

▽2日 葛黒・掛泥（午前九時から正午まで）、明利又（午後一

鷹巣町発明工夫展

小、中学生の創意・工夫による第1回鷹巣町発明工夫展が、下記のとおり開かれます。

多数ご観覧ください。

◆期日 9月5日 午前9時～午後5時
6日 午前9時～午後4時

◆会場 鷹巣町中央公民館

九月一日は

防災の日です

建物・施設の安全
点検をしましょう

時から四時まで）▽3日 大畑二本杉（午前九時から正午まで）
▽7日 高村岱（午前九時から午後一時まで）▽9日 仲町（午前九時から正午まで）、太平町（午後一時から四時まで）▽10日 坊沢大町（午前九時から九時半まで）、十時半から正午まで。神社付近は午前九時から正午まで）
▽17日 田沢（午前九時から午後一時まで）▽28日 脇神（午前九時から午後一時まで）

公民館のついで

鷹巣町中央公民館では、町内の小学校三年から中学生を対象に、



「発明工夫教室」を開設しました。これは、「ここをこうしたら、もっと便利になるのでは？」と、ものを見て考える習慣を育てたいというねらいから始めたものです。いわば、既製品に慣れきった子ども達に、手づくりの楽しさ、喜びを知って欲しいという願いもあります。最初は、二百五十名程の申し込みがありましたが、夏休み中の子ども達の行事等で、最終的には七十名位に減りました。

鷹中会場、南中会場、鷹小会場に分散し、三日間(八月一日、七日、十七日)にわたって開かれたこの教室から、豆発明家達の主な作品を紹介します。

お母さんが、風呂場の水を、い

学級紹介

緑ヶ丘若妻学級

大野尻、大向の若妻で結成されたのが緑ヶ丘若妻学級です。会員は十五名ですが、それぞれ職業がまちまちなので「全員集合」とは仲たがいしないようです。

先般、行われた「若妻中央学級リター研修」に参加した新会長の津谷さんは、「皆さんの先に立ってやることは、大変なことですが前会長さんの苦勞がわかりまし

た」といながらも、各地区のリーダーの方々と語り合いながら意欲をかりたてていました。

緑ヶ丘地区は、若いお母さん方が健康を害する人が多い、ということで、ここ二三年は「婦人の健康管理」を主テーマに学習してきました。これからは、学習した事を基礎に、実生活の中へ、どうとり入れ実践するかが課題として残っています。子育ては、まず親の健康から」を合言葉に、今後の活躍が期待される学級です。

会長 津谷百合子

つもあふれさせて、ムダだと気づいて作った満水報知器、キャンプで、魚を黒こげにした経験を生かした魚焼器、読みたい本を、すぐとり出せる便利な本箱、足の不自由な人のために考えた杖、ひとりで作動する消しゴム等、子どもらしいアイデアの中にもなるほどと感心する作品がありました。

指導にあたった先生達も、すばらしい着想のものがあつた、材料と道具がそろえば、もっと立派な作品ができるのではないかと、言っていました。

(指導していただいた先生)
辻侑次郎(辻産業K・K) 荒川園己(秋北電気) 長谷川正一(吉野学園) 斎藤睦雄(鷹巣精機) 三浦武(三浦巧美舎) 相馬久夫(相馬板金) 長崎久雄(南中) 出川長五郎(鷹中) 平田謙一(鷹小) 阿部達雄(理科センター)



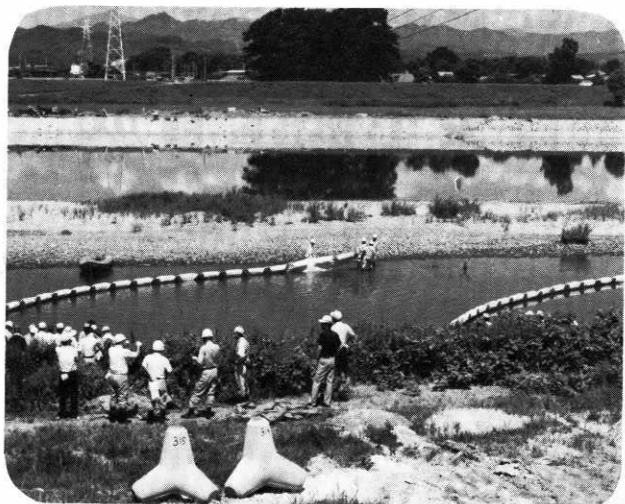
郷土史年表

38

事項

西暦	年号	事項
一九〇九	明治四二	○五月 鷹巣村社八幡神社に町内各所の無格社を合併、鷹巣神社と改称す
		○五月五日、北秋田郡立農林学校の開校式を七日市小学校で挙行す
		○十月、栄村宇洞原沢坂台、石川原沢の原野約八十五町歩に十カ年計画で杉を植栽す
		○十月二十二日 坊沢婦人会創立
		○十一月三日 鷹巣青年団創立
		○十一月二十三日 都市巡回の第一回種苗交換会を大館町で開催す
		○一月 今泉に冬季分校、四年以下五人、田沢冬季分校、二五人・李岱冬季分校(李岱、小摩当、吉ヶ沢の児童)三〇人
		○高等小学校で、農業・商業の二科目が必修となる。
		○国定教科書を改定する。
		読本「ハタ、タコ、コマ……」
		○小学校児童学力向上のため比較考査規定を定める。
		○市長村長をして、管内小学校修了者を召集し、教育点呼規定を定める。
		○五月 観音堂併分教場(緑ヶ丘小の前身)、児童数増加のため、現校舎を村に寄付し、坊沢村藤島仁十郎宅を購入し、貯水池付近に移転新築す
		○五月、北秋田郡地主会結成
		○栄、字根洗沢及び、上ミ袋の原野、三十五町歩に五カ年計画で杉を植栽す
		○七月十八日七座小学校を前山に新築
		○八月十日夜 鷹巣、仲町大火・家屋倉庫、納屋等五十七棟を焼失・損害約二十万円

(次号へ続く)



米代川で油流出事故演習

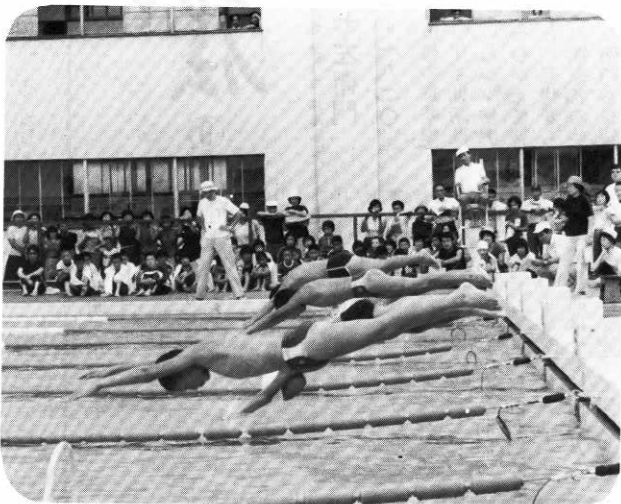
このほど米代川にオイルが流出したという想定のもとに大掛かりな演習が行われました。

十二所で重油 1,000ℓが流出したという情報にもとづき、鷹巣橋左岸下流に建設省、県、町から関係職員が出動。オイルフェンスを二重にはりめぐらして、流出した油の拡散、流下の防止と回収を速やかに確実にを行う規定訓練に汗を流していました。

真黒に日焼した子供たちによる水泳記録会が、夏休みも残り少ない8月18日鷹巣小プールで行われました。

今年は、30度を越す真夏日も多く、涼を求めて毎日泳ぎまわっただけあって、町内各小学校から参加した選手は、自由型や平泳ぎ、背景などに大人顔負けの力泳で好記録が続出し、心配してかけつけた先生や父兄を驚かせていました。

小学校水泳で大会新23個



看板コンクールで事故防止

町交通安全協会では8月1日から始まった夏の交通安全運動の一環として「交通安全立看板作品コンクール」を実施。各支部では、建設技能組合の協力で製作した立看板に、それぞれ趣向をこらして作品を完成させたもので、運転者や歩行者に交通安全を呼びかけて

いました。審査の結果、最優秀賞は「30km制限を守って」第四支部、優秀賞は沢口支部と第四支部でした。



坊沢老人第3クラブ（長崎佐太吉会長）は、お盆を控えた8月9日お寺の境内と墓地の清掃を行いました。

各家々では、墓所の草取りや花を植えたりしてきれいにするものの、境内や参道までは手がまわらず、毎年老人クラブが奉仕作業をかけてでているものです。

今年も、早朝から会員が出て汗だくで作業を行い、地域の人から感謝されていました。

お盆まえに墓地清掃



住民主導の 青少年健全育成

町民会議結成の
うごき



次の世代の担い手である青少年が心身ともに健やかに成長することは、町民すべての願いであり、その風土づくりはおとなの責任である。

しかし、こうした願いもむなし、日々に青少年の非行が増加し、非行少年の低年齢化、非行の地方拡散傾向がつまより、大きな社会問題となっている。

町や県では、それぞれ青少年の健全育成をよびかけ、関係機関、団体で方策を考え、努力をしているが、なによりも子を持つ親や、地域住民ひとりひとりの自覚と、実践がなければ、その目的を達成することが難しい。

このたび、町内有志が集まり行政に頼るだけでなく、住民自らの手

で「青少年健全育成町民会議」を結成し、各家庭や地域の人々に、みんなが手を取りあって、青少年のぞましい環境をつくることをよびかけようとしている。

運動方針 六つの柱

町民会議は住民運動としてつぎのことをかかげている。

- 一、家庭でのおてつだいをすすめる
- 一、親子の対話で心のつながりを深めよう
- 一、おとなも子どもも、あいさつし、声をかけ合おう
- 一、小さな親切の実行をすすめる、社会奉仕の心を育てよう
- 一、青少年に有害な条件の排除につとめ、健全な社会環境をつくる

ろ。

一、関係機関、団体は、お互いの状況を交流し合い、歩調の合った活動をしよう（町民会議機関紙など、予定）

会費は年額三百円
十一月に結成総会

この町民会議は、「住民自らの手で、お互いに会費を出し合って活動しよう」というところに特色がある。会費は個人が年額三百円、企業団体が二千元以上で、それぞれ実行委員が趣意書を持って会員募集に訪問することになっている。

そして、十一月中旬に結成総会を予定している。総会では会議規約を審議決定し、役員を選出、組織づくりをして発足する。

事務局は当分の間、中央公民館がこれにあたる。

青少年健全育成町民会議 実行委員会

〔鷹巣地区〕 千葉文吉、麻木安和、藤原愛、中島喜代、成田正宏
和田テイチ、寺田富士雄〔沢口地区〕 成田勇雄、宇佐美慧、小原清、中島洋子、中林藤吉郎〔七日市地区〕 佐藤福治、長崎香寿子、宮腰光雄、畠山憲〔七座地区〕 野呂久雄、武田勇美、三上羽根子、野呂満美〔栄地区〕 長谷川貞子、松尾精一、藤島ハル小坂誠一〔坊沢地区〕 戸島金弘、成田清治郎、佐藤敏子、長崎克彦〔綴子地区〕 佐藤正、花田和子、宮野方臣、村上三雄

ふるさと 人物伝 ⑨

なが さき しちざ えもん
長崎 七左衛門
一七三一一八二〇

藩政時代、七日市村の長岐家は代々肝煎（きもり）世話役の（こと）を務めていたが、坊沢の長崎家から養子をむかえて後継ぎさせたことから、五代から八代まで「長崎」の姓を名のっている。七代、七左衛門も長崎家からの養子で、宝暦五年（一七五八）二十五歳で親郷肝煎に就任した。

その頃のこの地方は、冷害、虫害で稲は稔らず、洪水で田畑は流され、大変な凶作が続いて



いた。特に天明三年（一七八三）には十月七日に大雪が降り、チブスが発生、七日市竜泉寺壇徒、二百十五人が死んでいる。人々は山野をさまよい歩き、葛の根を採って掘って食べるというありさまであった。

このような農村生活の惨状の中で七左衛門は、農民を救うために、何としても農業経営の安定を確かなものにしなければいけないと考え、勤勉と儉約を説きながら着々事業を遂行した。彼が在任中の五十余年間に、私財を投じ、人々を督励し、水利、治水の工事を完成させた小猿部川の箇所は十数箇所に及ぶ。その作業はタガネで岩穴を堀り、大きな岩のかたまりを切り落して川をせき止めるなど大変な難工事であった。その関根の跡は今も残り、水路の一部は今も使われている。

彼は天明の大飢饉の時でも、農業に熱心な者は被害が少なかったことを知り、老人から種子苗代、本田の管理のことを聞き書きし、「老農置土産」「農書心得記」、「老農おきみやげそい日記」などを著している。後日、石川理紀之助翁は彼の著書を研究し、秋田県地方の農業のあり方を指導している。

村の一軒一軒の将来を考えての愛情あふる指導は小猿部の人々に長く語りつがれている。（資料、「小猿部に光る」）

中央公民館長 長崎 久

みんなの広場



よもぎ

道ばたに普通。くさも
ちの原料になり、モグサ
にもなる。

(理科センター・阿部達雄先生)

身近かな生活の

見直しを

臨 神 佐藤富貴子(35)



高度経 済成長時 代の心の おりが 今、大き な反動と して私達の生活を圧迫してしま

す。生活の見通しを説き、合理化が 叫ばれていますが、何か空しい響 きに聞えてなりません。祭典ひと つをとってみても、今だに見栄と 無駄の「祭典」に終止しているの

ではないでしょうか。

春から秋にかけて、部落ごとに行われる祭典のたびごとに、呼んだり、呼ばれたりのくり返しです。私自身も、「食べてもらう料理」より「飾りのための料理」に頭を悩まし、昨年も、食べ残しの料理の処理に手こずってしまいました。

また、気になることの一つに、親類の人達が来ても、お手伝いさんになつてしまい、ゆつくり語り合うことができない実情です。

沢口地区は、婦人会を中心に早くから合理化運動が進められ、祭典の統一化が実施されていることは大変良いことだと思えます。さらに、冠婚葬祭の簡素化申し合せ

わたしのおかあさん

わたしのおかあさんは、車をうんてんします。雨がふってかさが

ないときは、むかえにきてくれます。でも、おこるとこわいときもあります。わたしがねぼうしたときはおこしてくれ

ます。おかあさんは、しごとがいっぱ

広報のしおり

虫の声

歳時記によります

と、単に虫といえは「秋に鳴くコオロギ科とキリギリ斯科の総称」と書いてあります。鳴くのはオスで、二枚の前翅をすりあわせて音を出すわけですが、

事項もできております。

しかし、良い事と実行することとは、なかなか一致しないという声も聞かれます。総論賛成、各論反対の代表的なのが、この生活合理化運動のように思われます。

私達若妻グループでは、遅々として進まない合理化の原因は何か、住民の本音はどこにあるのか、をさぐりたいと考え、冠婚葬祭に関する意識調査を実施することになりました。結果が出しだい、分析し問題点をさぐりながら「誰れかがやるだろう」、「なんとかなるだろう」の意識から脱皮する手がかかりにしたい、そして皆んなが協力して住み良い地域づくりの風土を盛り上げたい、と考えています。

いあってたいへんだなあ、と思います。



中央小学校2年 村上 あずさ

なぜ鳴くのかというと、おそらくメスを呼んでいるのだらうというのが定説のようです。
リーンリーンと鳴くのはスズ虫。マツ虫は草むらでチンチロリンとやさしい声で鳴くのが特徴です。ガチャガチャと鳴くのはクツワ虫。スイツチョン、スイツチョンと鳴くウマオイ虫は、馬子が馬を追う

声に似ているので付けられた名称だということ。昼間から薄暗い物陰でチヨンギリス、チヨンギリスと鳴くのはキコオロギの声は、よく聞けばビヨロビヨロビヨロと笛をこがすような、とても文字では書き表わせない鳴き声です。

たかのす文芸

新鮮な気持ちで……

鷹巣中学校一年 佐藤 真希子

入学して四カ月

白いセーラー服も

さまになり

夏休みを向かえようとしている今

夢の様なあのころが目につく

新鮮な期待と希望を胸に

校門をくぐったあの時

力を合わせて応援し

力を合わせて戦ったあの大会

おしくも敗戦し

みんなでおたがいはげまし合って

みんなの心が一つになって

新しい目標に向かった瞬間があった

新鮮なみんなの気持ち

来学期はさらに大切にしていこう

